

第16回 匿名データ作成方法ワーキンググループ

令和2年国勢調査の匿名データの作成方法について (案)

令和5年4月21日 統計研究研修所

今回の議論のポイント

● しきい値による匿名化処理の方法について

提供する地域（全国を含む）ごとに、次の順で調査項目等の分類区分の度数又は構成割合の表を作成後、次の①、②を検討をする。

① 各調査項目等ごとの検討

- ✓ 数量に関する調査項目：累積の構成割合において、定められた基準値よりしきい値を算出し、トップコーディング、ボトムコーディング、世帯の削除等
- ✓ それ以外の調査項目：定められたしきい値よりも度数が少ない分類区分については、世帯の削除又はリコーディング等

② (①を施した後) 複数の調査項目等の検討

調査項目等の組み合わせにおいて、定められたしきい値よりも度数が少ない分類区分については、世帯の削除又はリコーディング等

● 母集団一意二意の削除対象となる世帯の特定方法の変更について

集計された統計表の組み合わせをベースとした調査項目等の組み合わせをいくつか設定し、そこで調査客体が母集団一意又は二意となる世帯を特定し削除する。

● 調査項目の分類区分の見直しについて

利用者への有用性等を考慮し、一部の調査項目において、これまで提供していた分類区分を見直す。（分類区分の細分化等）

● 攪乱処理について

従前からの方法で一定の作業量があり、作業負担を考慮し、令和2年調査も同様の攪乱処理を行う。